

青年部 「視野が広がる実感」 若者憲法集会で活動交流

【本部青年部長・栄大翔記】 東村山) 13人が参加。政治と6月11日、ステイゴールド銀座で行なわれた若者憲法集会の午前のメイン企画(東京都評青年協主催)は、5支部(葛飾、台東、墨田、杉並、小平)が集い、活動交流をしながら親睦を深めました。「憲法ビ

ンゴ」では、憲法の条文と価値を学びながらビンゴを目指しました。また、同日午後、朝日ホールでの若者憲法集会2023(同実行委主催)には全国から約1000人が参加。集会・デモ要員に協力しました。

仲間への呼びかけが広がり、共闘団体のイベントではこれまでになく参加人数となりました(3分の1が東京土建の仲間)。長沼副部長(本部青年部四役)が東京都評青年協の副議長を務めていることは要因の一つだと感じます。

全都の仲間のため奮闘により、青年部の体制は拡充(四役は2019年当初は4人から現在9人体制、執行委員は35支部から選出)され、青年部の活動をはじめ、地域共闘団体の運動が盛り上がりつつあるように感じます。若者



「憲法ビンゴ」で盛り上がる参加者

③34歳以下は「若者上乗せ給付」で1千円の給付。
④全建総連の資格取得報奨金の対象資格には2千円から1万円の給付があります。

技術・技能向上を 共済会の資格・講習共済

【どけん共済会発】2022

2年4月から組合員の資格取得、技能講習や安全衛生講習などの給付対象を上げ、制度名も資格取得祝い金から「資格・講習共済」と変更し、制度の充実を図りました。

①資格取得の証明書を添付して支部事務所に申請すれば、3千円から1万円が給付。
②技術研修センターで講習を受講した修了証(どけんライセンス)が写しがあれば「センター上乗せ給付」で1千円の給付

幅に増加しています。この間各支部で実施される技能講習に共済申請を位置付けた取り組みが多く、支部に広がっています。また、35歳以上の組合員の申請件数が大幅に増加しています。



司会を務める長沼さん(右)の仲間と話をしました。「将来の建設産業はどうなるか?」「週末2日でないで若者が入ってこない」「業界を変えていかなくては」という強い志を感じる一方で、ここでは言い話もあり、楽しく交流することができました。強調したのは「やっぱり会って話すっていいよね」、「数は力」「人は力」ということ。そして「ワクワクする楽しさ」「学習」「対話」「交流」「共感」というキーワードが重要と考えていました。それは仲間が証明してくれました。意欲にあふれた活動家は全都に多く存在しています。それは仲間が証明してくれました。意欲にあふれた活動家は全都に多く存在しています。

大切なのは 会って話すこと

6月18日、たま未来メッセ(八王子)を会場に対面で開催した第2回拡大執行委員会



拡大執行委のようす

は、21支部70人が参加。「働き方改革とインボイス制度の影響」の学習後、支部の経験報告や春の月間を総括し、夏の大会に向けて意思統一。分散会は働き方・丁場別で行なう、会議後の交流会では多

☆2021~2022年度での 給付件数と給付時年齢

■給付件数

2021年4月~2022年3月末
給付件数・1285件
(全建総連分を含めると2151件)

2022年4月~2023年3月末
給付件数・2792件
(全建総連分を含めると4120件)

■給付時年齢

	21年4月~	22年4月~
~20歳	66件	72件
21歳~34歳	702件	976件
35歳~44歳	244件	630件
45歳~55歳	214件	698件
56歳~	59件	416件



4年ぶりの通常開催 プロ棋士による指導対局も

技術対策部長として奮闘されていると。すこい。また土建で逢いましょう。受け取ったハトンは引継いでいきます。

レベルに応じた対局、団体戦は3人1組でそれぞれのメンバーが獲得した勝点にクラス

【厚生文化部発】コロナ禍で開催できていませんでしたが、第42回将棋大会は、2019年以後4年ぶりの通常開催を計画しています。個人戦はA~D級の別加算率を乗じて合計し、順位を決めます。午後からは指導対局、島朗9段の講演や鈴木環那女流3段による将棋クイズなどのイベントも企画しています。対局の上位入賞者には藤井聡太7冠のサイン入り扇子などの商品もご用意しています。初心者、小学生、女性の参加も大歓迎です。チラシ(支部に配布済・左上参照)の裏面に必要事項を記入し、申し込みをお願いします。奮ってご応募をお願いします。

「日時」8月20日(日) 受付開始・午前9時、開会式・午前9時30分、対局開始・午前10時
「会場」けんせつプラザ東京5階会議室
「参加費用」2000円(お弁当・飲み物付き) ※小学生以下は無料
「申し込み期限」8月7日(月)まで(お盆休みに入る関係もありますので期限厳守をお願いします)

全リ協・RECACO・住推協 3団体共同事業

第2回 全リ協・RECACO・住推協 住宅リフォームコンテスト

木のリフォーム・リノベ部門 (税込500万円以上工事) **応募要項**
木のリフォーム部門 (税込500万円未満工事)

■審査ポイント
 ●木材を効率的に使ったリフォームであって、木の良さを活かすための工夫、知恵、技術が盛り込まれたもの
 ●事業者の努力等により、顧客満足度の向上が図られているもの

住まいと暮らしの改善リフォーム部門 (税込100万円以上工事)
住まいと暮らしの改善プチリフォーム部門 (税込100万円未満工事)

■審査ポイント
 ●事業者の努力等により、顧客満足度の向上が図られているもの
 ●社会や居住者のライフスタイルの変化に対応し、居住者の暮らしのあり方を提案しているもの
 ●住宅の各種性能の維持・資産価値の向上がうまく図られているもの

住まいの塗装・外装・外構部門

■審査ポイント
 ●施工前と施工後のビフォーアフターを重視

対象工事 応募事業者が受注・直接施工した工事であって、2021年9月以降に完成・引き渡された工事であること。構造、戸建て・共同住宅の別は問いません。

応募締切 2023年8月31日(木) (必着)
 ※郵送の場合は当日消印有効

最優秀賞 (1点) ほか 賞状、副賞3万円、記念品 など

応募要件・応募方法など詳細は (一社)リフォームパートナー協議会 (RECACO) 事務局 TEL 0120-292-229 まで